

3. 保健学部・保健学研究科

平成18年度保健学部では教員の学部活動組織の委員会名称を従来の第1常置委員会、第2常置委員会、第3常置……から以下のように各委員会の活動内容を表す具体的な名称とした。平成18年度の学部活動組織として、運営委員会、教務委員会、学生委員会、入試委員会、研究委員会、就職委員会、図書委員会、倫理委員会を設置し、また、運営委員会には運営・制度・予算小委員会、教員評価小委員会、FD・将来構想・授業評価小委員会、教務委員会には教務小委員会、IT小委員会、ホームページ作成推進小委員会、学生委員会には学生・アメニティ・杏園祭小委員会、担任小委員会、入試委員会には入試作業小委員会、広報小委員会、研究委員会には研究小委員会、共通・設備小委員会、動物実小委員会、実験動物施設運営小委員会、環境小委員会、図書委員会には図書小委員会、杏会報編集小委員会、研究報告編集小委員会の小委員会を組織し広範囲な活動を行った。

また教務部では教務関係について、保健学部を大きく臨床検査技術学科・保健学科、臨床工学科（平成18年4月新設）及び看護学科の3つに分け、それぞれに時間割、実習、卒業研究、国家試験対策の小委員会を設置し、よりきめ細かな活動を行った。

保健学研究科では教員の大学院活動組織として、大学院委員会、保健学研究科自己評価委員会、保健学研究科教務委員会、保健学研究科学生委員会を組織し活動を行った。

平成18年度 保健学部活動組織 学部

委員会 (委員長)	小 委 員 会															
	委員会名	委員長	副委員長	委 員												
運営委員会 (学部長)	運営・制度・予算	教務部長	学生部長	飯田	石山	太田英	蒲生	岸	小池	照屋	藤井					
	自己評価	学生部長	教務部長	飯田	金森	石井	岸	小池	清水	塚原	照屋					
	FD・将来構想・授業評価	教務部長	学生部長	石井	飯田	石山	金子	柴田	太田ひ	出島靖	渡辺篤					
教務委員会 (教務部長)	教務	教務部長	藤井	大嶺	嶋津	塚原	今留	岡田	熊井	島	橋本	森田耕	深澤	朝野		
	IT推進	照屋	松本	小竹	大河戸	関	新江	森田洋								
	ホームページ作成推進	金子	照屋	鎌田	小野川	関	渡辺篤	金久保								
学生委員会 (学生部長)	学生・アメニティ・杏園祭		下川	田島	中竹	近藤	田中薫	田村								H17入学 H18入学
	担任	学生部長	教務部長	臨床	1年	菰田	高橋宗	2年	小野川	郡	3年	渡辺登	飯島	編入	下島	岡田
				保健		松塚	石野		手塚	関		朝野	相磯		山口佳	近藤
				臨工		小林博	渡辺篤		—			—			—	
				看護		大脇	丸山		橋本	坂本		東	小竹		—	
入試委員会 (高見)	入試作業	高見	飯田	大嶺	今留	土屋	島	榎本	松本	郡	関澤					
	広報	坂内	田島	石山	西山	和田	熊井	佐藤喜	出島靖	中島	東	小竹	佐々木	三谷	菰田	佐藤南
研究委員会 (蒲生)	研究	蒲生	柳澤	川村	村椿	小林優	佐藤喜	山口佳	松本	八巻	山元					
	共通施設・設備	嶋津	西山	遠藤	高見	和田	佐藤喜	朝野								
	実験動物施設運営	鎌田	出島靖	飯田	関係のある研究室から一名ずつ											
就職委員会(金森)	就職	金森	石井	石山	相磯	熊井	土屋	中島	小林優	手塚	深澤	宮澤	出島優	関澤	鈴木	
	図書	清水	川澄	塚原	四倉	浅沼	林	平岡	馬場							
図書委員会 (清水)	杏会報編集	鎌田	加藤誠	太田ひ	久保											
	研究報告編集			川澄	加藤誠	山本外	横尾	松塚								
倫理委員会	倫理			飯田	大瀧	金森	蒲生	川村	岸							

大学

委員会名	委員長	副委員長	委 員													
校医・健康管理医			副島	四倉	田島	照屋	柳澤									
ワクチン接種	藤井雅	西村	副島	四倉	田島	和田	土屋	手塚	宮澤	関根	出島優	吉田久	加藤昌			
セクシャル・ハラスメント相談員			高橋美	新井	羽場	依田										
衛生管理者			田島	大嶺	下島	近藤										
図書館運営			加藤英	関	大脇	鈴木										
組換 DNA 実験安全			川澄	塚原												
RI	石井		蒲生	金森												
国際交流センター運営			柳澤	八巻	細田											
			飯田	清水												

3. 保健学部・保健学研究科

研究科

委員会名	委員長	副委員長	委員													
大学院			石井	大瀧	丘島	小池	加藤英									
保健学研究科自己評価	研究科長	加藤英	丘島													
保健学研究科教務	小池	石井	川村	副島	高見	坂内										
保健学研究科学生	加藤英															

学部 課程等の組織

課程	委員長	副委員長	委員															
臨床検査技師課程	藤井	森田耕	相磯	榎本	島	村椿	西村	宮澤	三谷	小野川	大河戸	郡	関根	山本寛				
教職課程	大嶺	太田ひ	加藤英	飯田	近藤	朝野	浅沼	関澤	関	石野	出嶋優	山元						
細胞検査士養成課程	安井	藤井	高見	飯島	大河戸	郡	山本寛											
保健師課程	塚原	山口佳	看護学科教員															
助産師課程	柴田	佐藤喜																
看護師課程	飯田	今留																
救急救命士課程	和田	小池	柳澤	深澤	馬場	山内												
社会福祉士課程	加藤英	熊井	佐藤藤	林														
臨床工学技士課程	嶋津	石山	副島	四倉	小林博	中島	田中薫	三谷	渡辺篤	瀬野	福長							
第一種衛生管理者課程	金子		関															
食品衛生管理者	丘島	森田耕	岡田															

1) 教務部関係

(1) カリキュラム

臨床検査技術学科、保健学科、及び看護学科のカリキュラムは平成12年度から実施されたものであり、7年目を迎えている。また、平成18年4月に臨床工学科が新設されたが、この学科のカリキュラムも他の3学科と共通の教育理念の下に策定されたものである。まず人文科学系科目では、哲学、生命倫理学、心理学、発達心理学、芸術などを、社会科学系科目では、法学、日本国憲法、社会学などを配置して、幅広い分野にわたって教養を養い、豊かな人間性をつくりあげるための基盤とした。自然科学系の科目は、基礎知識を整理してそれぞれの専門科目につなげる側面と、事実に基づいて論理的に考え実証的に検証するなどの事実の認識方法の練習の側面を持つと位置づけた。近年とみに必要性が指摘されている語学に関しては、英語を主にしフランス語を配置しているが、他の言語の学習を希望する学生に対しては、外国語学部の多様な言語を履修できる制度を設けた。体育に関しては、キャンパス内で開講される体育実技のほか、夏期休暇中に開講される体育実技Ⅱを開講し、体育に親しめるよう配慮した。

一方、専門領域に関して、その教育体系が法律等によって規定されているものについては、これに従った。また法律で規定されていない領域の体系については、教員の研究領域を活かして、環境科学、遺伝医学、保健学などの領域として体系化した。

平成18年度のカリキュラムもこれらを踏襲した。

なお、平成16年9月21日付で、大学改革プロジェクト委員会から出された「八王子キャンパスの将来構想に関する提言」に基づいて、各学科のカリキュラムの改正を検討した結果、臨床検査技術学科、保健学科(平成19年度より健康福祉学科へ改称)、看護学科のカリキュラムが平成19年4月から一部改正されることとなった。

(2) 資格取得について

臨床検査技術学科、保健学科、看護学科及び臨床工学科においての資格取得に対して、①所定の科目を履修することによって取得できる受験資格、②所定の科目を履修することによって取得できる資格及び任用資格、③その他に分けられる。

①所定の科目を履修することによって取得できる受験資格

臨床検査技師（臨床検査技術学科・保健学科）

細胞検査士（臨床検査技術学科・保健学科）

救急救命士（臨床検査技術学科・保健学科）

社会福祉士（臨床検査技術学科・保健学科）

看護師・保健師・助産師（看護学科）

臨床工学技士（臨床工学科）

②所定の科目を履修することによって取得できる資格

養護教諭1種（保健学科・看護学科）

保健科教諭1種（保健学科・看護学科）

衛生検査技師（臨床検査技術学科・保健学科）

第1種衛生管理者（臨床検査技術学科・保健学科・臨床工学科）

食品衛生管理者・食品衛生監視員（任用資格）（臨床検査技術学科・保健学科）

③その他

・移植コーディネーターに関しては臨床検査技術学科・保健学科・看護学科とも業務に関する基礎的な領域がカバーできるよう配慮している。

・「八王子キャンパスの将来構想に関する提言」に基づき、学部改革を進めた結果、平成19年4月には救急救命学科が設置されることとなった。また、学科の教育内容をより明確に表すために、平成19年4月から、保健学科を健康福祉学科へ改称することが決定された。

（3）国家試験対策

①臨床検査技術学科・保健学科

（臨床検査技師）

臨床検査技師課程委員会の国家試験対策担当が中心となって対策を行った。両学科の4年生臨床検査技師国家試験受験希望者に対し、平成18年6月～7月の間に主要10科目の「国家試験受験対策基礎講座」を開講した。7月および9月～2月の間に学内模擬試験を5回、外部模擬試験を3回実施した。11月～12月の間には検査特別講義を20日（80コマ）、1月から2月下旬の間には補習講義を28回（56コマ）開講した。

（救急救命士）

救急救命士国家試験受験希望者（救急救命士課程4年生）を主体に10月の卒業研究発表後に自主的に国家試験対策日程を調整させ、翌年3月までの間に全国統一模擬試験1回および模擬試験3回を実施した。なお、問題解説、傾向と対策については、救急救命士課程委員が行った。

（社会福祉士）

年3回の全国社会福祉士国家試験模擬試験を、社会福祉士課程学生全員に実施した。

模擬試験の結果を受験科目毎に整理し、各学生の得意・不得意科目を明らかにし、その補強のための補講を適宜学生毎に実施した。さらに、法律関係のトピックスを随時配布した。

②看護学科

国家試験対策委員会を中心として看護師国家試験、保健師国家試験受験希望者に対して5回の外部模擬試験を行い、その結果を詳細に分析し学生一人一人に得手、不得手を示し今後の対策についてアドバイスを行った。また看護師国家試験、保健師国家試験の主要な科目に対しては補講を行い学生の便宜をはかった。補講を行った科目は次のとおりである。

疫学、保健統計、薬理学、疾病論、生理学、解剖学、基礎看護学、小児看護学、母性看護学、成人看護学、高齢者看護学、精神看護学、在宅看護学、地域看護学、保健福祉行政論。

3. 保健学部・保健学研究科

(4) その他

学生による授業評価は前期末と後期末に行い、その結果を杏林大学ホームページ上に公表した。なお、海外語学研修は従来、オーストラリアウエスタンシドニー大学で行われていたが、平成17年度よりカナダ・バンクーバー・ランガラカレッジへ変更され、平成18年度の参加者は14名（臨床検査技術学科：3名、保健学科：3名、看護学科：8名）であった。

2) 学生部関係

(1) クラブ活動・課外活動

クラブ・同好会活動に対して学生と大学の仲介者として顧問制度を設け、教員を配置し学生の便宜を図っている。平成18年度保健学部学生が所属していたのは体育会系クラブ11、文化系クラブ4であり、学生が自主的に参加し活発に行われた。各クラブ・同好会の詳細は表に示すとおりである。

学園祭は八王子キャンパス保健学部、総合政策学部、外国語学部それぞれの学部から選出された杏園祭実行委員会の学生を中心とし、学生部教員、学生課職員の協力の下に10月28日・29日に行われた。学生相互の親睦、教職員との親睦が図られただけでなく、大勢の八王子市民の参加があり、市民との交流の場を持つという点からも大いに成果が認められた。

平成18年度 保健学部クラブ・同好会一覧

敬称略

ク ラ ブ 名 (体育系)	人 員 内 訳				顧 問	保 健 学 生 代 表	学 年
	保	総	外	計			
保健学部バドミントン部	62	0	4	66	山本 寛	高井 喜実	保3
保健学部男子バレーボール部	3	6	1	10	山本 外憲	竹井 香奈	保2
保健学部女子バレーボール部	3	3	2	8	田村 高志	宮本亜衣子	保3
保健学部硬式庭球部	45	0	0	45	岸 邦和	村永 真吾	保3
保健学部バスケットボール部	48	1	6	55	大河戸光章	西田 三恵	保3
弓道部	18	7	3	28	坂内 久一	西之原 徹	保3
端艇部	4	0	2	6	下川 哲徳	平 直統	保3
少林寺拳法部	2	8	0	10	島 幸夫	本間 広恵	保3
保健学部フットサル部	61	9	1	71	関澤 浩一	斎藤 穰	保3
水泳部	17	0	0	17	下川 哲徳	緑川 裕美	保3
レスキュー スクワッド	40	0	0	40	和田 貴子	田村 浩一	保4

ク ラ ブ 名 (文化系)	人 員 内 訳				顧 問	保 健 学 生 代 表	学 年
	保	総	外	計			
保健学部軽音楽部	24	12	16	52	鎌田 邦栄	和田加那子	保3
保健学部吹奏楽団	13	3	3	19	加藤 英世	米山優美子	保3
ボランティア部	48	7	2	57	中竹 俊彦	横山 留美	保3
びあっこクラブ	8	0	2	10	土屋有利子	吉本しおり	保3

(2) 奨学金

今年度の奨学金に関しては、杏林大学奨学金の給付のほか、日本学生支援機構の貸与手続き、各種外部団体からの貸与・給付手続きを行った。詳細は以下のとおりである。

杏林大学奨学金			11名
杏林大学緊急時奨学金			1名
日本学生支援機構奨学金（定期）	2年以上	第1種	3名
		第2種	10名
	1年生	第1種	23名
		第2種	42名
日本学生支援機構奨学金（追加）			7名
茨城県奨学金			3名
福島県奨学金			1名

(3) 学生の留学

今年度の該当者はいなかった。

(4) 生活、進路相談に対する対応

第1, 2, 3年次生には、各学年2名ずつのクラス担任をおき、学生一人一人に対し指導、支援を行った。また、第4年次生に関しては、資格取得、進学など相談内容が具体化することもあり卒業研究配属先の教員が指導・支援を行った。学生の健康管理については杏林大学八王子保健センターがあたり、健康診断、予防接種、カウンセリングなどが行われた。

また、学生相談室において学生生活における悩みや問題について、様々なアドバイスが行われた。

3. 保健学部・保健学研究科

臨床検査技術学科

●：必修科目 ○：選択科目

区分	授業科目名	単位数		配 当 学 年								シラバス ページ	備考	
		必修	選択	1前	1後	2前	2後	3前	3後	4前	4後			
人文・社会学系	哲学		2	○	○								1	10単位以上 2コマ開講(1つを選択)
	心理学		2	○									2	
	法学		2	○									3	
	日本国憲法		2		○								4	
	社会学		2	○	○								5	
	生命倫理学		2		○								6	
	発達心理学		2		○								7	
芸術		2	○	○								7～8		
数学系	数学		2	○									8	3単位以上
	統計学演習		1		○								9	
	医療情報科学		2				○						9	
	計算機演習		2			○							10	
物理学系	物理学		2		○								10	3単位以上
	物理学実験		1	○									11	
	医用工学概論		2			○							11	
	医用工学実験		1			○							12	
化学系	無機化学		2	○									12	3単位以上
	生物有機化学Ⅰ		2	○									13	
	生物有機化学Ⅱ		2		○								13	
	化学実験		1	○									14	
生物学系	生命科学概論		2	○									14	3単位以上
	細胞生物学		2		○								15	
	人類遺伝学		2	○									80	
	生物学実験		1	○									15	
言語系	日本語表現法	2		●									16	英語Ⅰ・Ⅱ(各2単位), またはフランス語Ⅰ・Ⅱ(各2単位), どちらか選択, 他に4単位以上。 英会話Ⅱは英会話Ⅰを履修していること
	英語Ⅰ		2	○									16～17	
	英語Ⅱ		2		○								18	
	英語Ⅲ		2			○							19	
	医学英語		2				○						20	
	英会話Ⅰ		2			○	○						21	
	英会話Ⅱ		2			○							21	
	フランス語Ⅰ		2	○									22	
	フランス語Ⅱ		2		○								22	
	フランス語Ⅲ		2			○							23	
フランス語会話		2				○						23		
体育学系	体育実技Ⅰ		2		●								24	
	体育実技Ⅱ		1			○		○					25	
	健康スポーツ科学		2	○									25	
基礎医学系	医学概論		2	●									26	
	公衆衛生学Ⅰ		2	●									26	
	公衆衛生学Ⅱ		2		○								27	
	解剖学Ⅰ		2	●									27	
	解剖学Ⅱ		2		○								28	
	解剖学実験		1			●							28	
	病理学		2				●						29	

●：必修科目 ○：選択科目

区分	授業科目名	単位数		配 当 学 年								シラバス ページ	備考
		必修	選択	1 前	1 後	2 前	2 後	3 前	3 後	4 前	4 後		
基礎 医学系	病理学実験	1						●				29	
	生理学Ⅰ	2		●								30	
	生理学Ⅱ		2		○							30	
	生理学実験	1			●							31	
	生化学Ⅰ	2			●							31	
	生化学Ⅱ		2			○						32	
	生化学実験	1					●					32	
	血液学	2				●						33	
	血液学実験	1						●				33	
	免疫学	2					●					34	
	免疫学実験	1					●					34	
	微生物学	2			●							35	
	微生物学実験	1						●				35	
	医動物学		2			○						36	
	医動物学実験		1					○				36	
	薬理学		2			○						37	
	医学 検査系	生理学検査Ⅰ		2			○						38
生理学検査Ⅱ			2				○					38	
画像診断技術			2					○				39	
生理学検査実習			1						○			39	
生化学検査Ⅰ			2				○					40	
生化学検査Ⅱ			2					○				40	
病態生化学			2			○						41	
生化学検査実習			1					○				41	
病理学検査			2					○				42	
病理学検査実習			1						○			42	
病理組織・細胞検査			2					○				43	
病理組織・細胞検査実習			1						○			43	
血液学検査			2					○				44	
血液学検査実習			1					○				44	
微生物学検査			2					○				45	
微生物学検査実習			1					○				45	
免疫学検査			2					○				46	
免疫学検査実習			1					○				46	
一般検査			2					○				47	
一般検査実習			1					○				47	
臨床医学概論			2			○						48	
臨床病理学Ⅰ			2				○					48	
臨床病理学Ⅱ			2					○				49	
検査管理		2					○		○		49		
検査総合演習		2						○			50		
医療関係法規		2							○		50		
臨床実習Ⅰ		2						○	○		51		
臨床実習Ⅱ		4						○	○				
検査特別講義		1								○	52		
細胞検査法		2			○						52		

3. 保健学部・保健学研究科

●：必修科目 ○：選択科目

区分	授業科目名	単位数		配 当 学 年								シラバス ページ	備考
		必修	選択	1 前	1 後	2 前	2 後	3 前	3 後	4 前	4 後		
医学検査系	細胞検査演習Ⅰ		1		○							53	
	細胞検査演習Ⅱ		1			○						53	
	細胞検査演習Ⅲ		1				○					54	
	細胞検査演習Ⅳ		1					○				54	
	細胞検査演習Ⅴ		1						○			55	
	細胞検査演習Ⅵ		1										休講
分子生物学系	分子生物学Ⅰ		2			○						55	
	分子生物学Ⅱ		2				○					56	
	分子生物学実習		1			○						56	
	臨床遺伝学		2				○					57	
	遺伝子検査法(実習を含む)		2							○		57	
	細胞遺伝学		2		○							58	
	分子細胞生物学		2				○					58	
救急医学系	臨床内科学Ⅰ		1			○						59	
	臨床内科学Ⅱ		1				○					59	
	臨床内科学Ⅲ		1			○						60	
	臨床内科学Ⅳ		1				○					60	
	臨床内科学Ⅴ		1					○				61	
	臨床内科学Ⅵ		1						○			61	
	臨床内科学Ⅶ		1					○				62	
	臨床内科学Ⅷ		1					○				62	
	救急医学概論Ⅰ		1	○								63	
	救急医学概論Ⅱ		1		○							63	
	医学検査		1			○						64	
	救急処置総論		1		○							64	
	救急処置各論		2			○						65	2時限連続開講
	救急・災害医療		1							○		65	
	臨床外科学Ⅰ		2			○						66	2時限連続開講
	臨床外科学Ⅱ		2				○					67	2時限連続開講
	臨床外科学Ⅲ		1							○		68	
	臨床外科学Ⅳ		1					○				68	
	一般救急救命		1				○					69	
	小児科学		1					○				69	
	産婦人科学		1					○				70	
	整形外科		1					○				70	
	脳外科学		1					○				71	
	精神医学		1						○			71	
	救命救助法		1		○							72	
	シミュレーションⅠ		3				○					72	4時限連続開講
	シミュレーションⅡ		3					○				73	4時限連続開講
シミュレーションⅢ		2							○		73		
病院内実習		10							○		74		
救急車同乗実習		3							○		74		
衛生学系	産業保健学		2			○						107	
	環境衛生工学		2					○				108	
	放射線概論		2				○					109	
	環境化学		2		○							109	

●：必修科目 ○：選択科目

区分	授業科目名	単位数		配 当 学 年								シラバス ページ	備考
		必修	選択	1 前	1 後	2 前	2 後	3 前	3 後	4 前	4 後		
衛生学系	分析化学Ⅰ		2		○							110	
	分析化学Ⅱ		2			○						110	
	分析化学実験		1			○						111	
	食品栄養学		2				○					112	
	食品衛生学		2					○				112	
	食品製造学		2			○						113	
	実験動物学		1			○						113	
	動物実験実習		1			○						114	
	職業適性論		2				○					114	
	労働衛生法規Ⅰ		2					○		○		115	
	労働衛生法規Ⅱ		2			○		○		○		115	
総合	移植コーディネータ論		2				○					107	
	特別講義Ⅰ		2									116	
	特別講義Ⅱ		2									116	
	特別演習Ⅰ		1									116~130	
	特別演習Ⅱ		1									116~130	
	卒業研究	4									●	135	
計		33	235									124単位以上	

救急医学系：1単位30時間（実習除く）

3. 保健学部・保健学研究科

保健学科

●：必修科目 ○：選択科目

区分	授業科目名	単位数		配 当 学 年								シラバス ページ	備考		
		必修	選択	1前	1後	2前	2後	3前	3後	4前	4後				
人文・社会学系	哲学		2	○	○								1	10単位以上	2コマ開講（1つを選択）
	心理学		2	○									2		
	法学		2	○									3		
	日本国憲法		2		○								4		
	社会学		2	○	○								5		
	生命倫理学		2		○								6		
	教育心理学		2	○									6		
	発達心理学		2		○								7		
芸術		2	○	○								7～8			
数学系	数学		2	○									8	3単位以上	
	統計学演習	1			●								9		
	医療情報科学		2				○						9		
物理学系	物理学		2		○								10	3単位以上	
	物理学実験		1	○									11		
	医用工学概論		2				○						11		
	医用工学実験		1				○						12		
化学系	無機化学		2	○									12	3単位以上	
	生物有機化学Ⅰ		2	○									13		
	生物有機化学Ⅱ		2		○								13		
	化学実験		1	○									14		
生物学系	生命科学概論		2	○									14	3単位以上	
	細胞生物学		2		○								15		
	生物学実験		1	○									15		
言語系	日本語表現法	2			●								16	英語Ⅰ・Ⅱ（各2単位）、またはフランス語Ⅰ・Ⅱ（各2単位）のどちらか選択、他に4単位以上。 英会話Ⅱは英会話Ⅰを履修していること	
	英語Ⅰ		2	○									17		
	英語Ⅱ		2		○								19		
	英語Ⅲ		2				○						19		
	医学英語		2					○					20		
	英会話Ⅰ		2				○	○					21		
	英会話Ⅱ		2				○						21		
	フランス語Ⅰ		2	○									22		
	フランス語Ⅱ		2		○								22		
	フランス語Ⅲ		2				○						23		
フランス語会話		2					○					23			
体育学系	体育実技Ⅰ	2			●								24		
	体育実技Ⅱ		1				○		○				25		
	健康スポーツ科学		2	○									25		
基礎医学系	医学概論		2	○									26		
	公衆衛生学Ⅰ		2	○									26		
	公衆衛生学Ⅱ		2		○								27		
	解剖学Ⅰ	2		●									27		
	解剖学Ⅱ		2		○								28		
	解剖学実験		1		○								28		
	病理学	2					●						29		
	病理学実験		1					○					29		

●：必修科目 ○：選択科目

区分	授業科目名	単位数		配 当 学 年								シラバス ページ	備考		
		必修	選択	1 前	1 後	2 前	2 後	3 前	3 後	4 前	4 後				
基礎 医学系	生理学Ⅰ	2		●									30		
	生理学Ⅱ		2		○								30		
	生理学実験		1		○								31		
	生化学Ⅰ	2			●								31		
	生化学Ⅱ		2			○							32		
	生化学実験		1				○						32		
	血液学	2				●							33		
	血液学実験		1					○					33		
	免疫学	2					●						34		
	免疫学実験		1					○					34		
	微生物学	2			●								35		
	微生物学実験		1						○				35		
	医動物学		2				○						36		
	医動物学実験		1						○				37		
	薬理学		2				○						37		
保 健 学 系	保健学概論	2		●									75		
	人類生態学		2			○							75	4 単 位 以上	
	環境保健学		2			○							76		
	疫学		2				○						76		
	保健管理学		2			○							77		
	保健社会学		2				○						77		
	母子保健学		2			○							78		小児保健を含む
	成人保健学		2				○						78		
	精神保健学		2				○						79		
	保健栄養学		2			○							79		食品学を含む
	人類遺伝学		2	○									80		
	健康教育学Ⅰ		2					○					80	保健科指導研究Ⅰ	
	健康教育学Ⅱ		2						○				81	保健科指導研究Ⅱ	
	人間適応論		1			○							81		
	人口学		1					○					82		
保健学基礎実習Ⅰ	2				●	●						82～83			
保健学基礎実習Ⅱ	4							●				83～85			
保健学実習A		1							○			85～88			
保健学実習B		1							○						
福 祉 ・ 養 護 系	社会福祉学		2	○									89		
	社会福祉政策論		2					○					89		
	老人福祉論		2				○						90		
	高齢保健学		2				○						90		
	障害者福祉論		4					○					91		
	児童福祉論		2				○						92		
	社会保障論		4					○					93		
	公的扶助論		2							○			94		
	地域福祉論		2					○					94		
	社会福祉援助技術総論		4		○								95		
	社会福祉援助技術論Ⅰ		2				○						96		
社会福祉援助技術論Ⅱ		2					○					96			

3. 保健学部・保健学研究科

●：必修科目 ○：選択科目

区分	授業科目名	単位数		配 当 学 年								シラバス ページ	備考
		必修	選択	1 前	1 後	2 前	2 後	3 前	3 後	4 前	4 後		
福祉・ 養護系	社会福祉援助技術演習Ⅰ		1		○							97	学校安全を含む
	社会福祉援助技術演習Ⅱ		1		○							97	
	社会福祉援助技術演習Ⅲ		2			○						98	
	社会福祉援助技術演習Ⅳ		2				○					98	
	社会福祉援助技術演習Ⅴ		2					○				99	
	社会福祉援助技術実習		6						○			99	
	社会福祉援助技術現場実習指導		2						○			100	
	地域保健学		2				○					100	
	養護学概論		2			○						101	
	学校保健学Ⅰ		2				○					101	
	学校保健学Ⅱ		2					○				102	
	健康相談		2						○			102	
	臨床心理学		2						○			103	
	カウンセリング		2						○			103	
	看護学Ⅰ		2			○						104	
	看護学Ⅱ		2				○					104	
	看護学Ⅲ		2					○				105	
	看護学実習		2							○		105	
	救急看護学		2						○			106	
	国際保健学		1						○			106	
移植コーディネータ論		2				○					107		
環境・食品系	産業保健学		2			○						107	
	環境衛生工学		2					○				108	
	環境科学		2					○				108	
	放射線概論		2				○					109	
	環境化学		2		○							109	
	分析化学Ⅰ		2		○							110	
	分析化学Ⅱ		2			○						110	
	分析化学実験		1			○						111	
	環境生物学		2					○				111	
	食品栄養学		2				○					112	
	食品衛生学		2					○				112	
	食品製造学		2			○						113	
	実験動物学		1			○						113	
	動物実験実習		1			○						114	
	職業適性論		2				○					114	
	労働衛生法規Ⅰ		2					○		○		115	
	労働衛生法規Ⅱ		2			○		○		○		115	
臨床検査系	生理学検査Ⅰ		2			○						38	
	生理学検査Ⅱ		2				○					38	
	画像診断技術		2					○				39	
	生理学検査実習		1						○			39	
	生化学検査Ⅰ		2				○					40	
	生化学検査Ⅱ		2					○				40	
	生化学検査実習		1					○				41	
	病理学検査		2					○				42	

●：必修科目 ○：選択科目

区分	授業科目名	単位数		配 当 学 年								シラバス ページ	備考
		必修	選択	1 前	1 後	2 前	2 後	3 前	3 後	4 前	4 後		
臨床検査系	病理学検査実習		1						○			42	
	血液学検査		2					○				44	
	血液学検査実習		1						○			44	
	微生物学検査		2					○				45	
	微生物学検査実習		1						○			45	
	免疫学検査		2					○				46	
	免疫学検査実習		1						○			46	
	一般検査		2				○					47	
	一般検査実習		1					○				47	
	臨床医学概論		2			○						48	
	医療関係法規		2							○		50	
	臨床実習Ⅰ		2						○	○		51	
	臨床実習Ⅱ		4						○	○			
	検査特別講義		1								○	52	
	遺伝医学系	分子生物学Ⅰ		2			○						55
分子生物学Ⅱ			2				○					56	
分子生物学実習			1			○						56	
臨床遺伝学			2				○					57	
遺伝子検査法(実習を含む)			2						○			57	
細胞遺伝学			2		○							58	
分子細胞生物学			2				○					58	
救急医学系	臨床内科学Ⅰ		1			○						59	
	臨床内科学Ⅱ		1				○					59	
	臨床内科学Ⅲ		1			○						60	
	臨床内科学Ⅳ		1				○					60	
	臨床内科学Ⅴ		1				○					61	
	臨床内科学Ⅵ		1						○			61	
	臨床内科学Ⅶ		1					○				62	
	臨床内科学Ⅷ		1					○				62	
	救急医学概論Ⅰ		1	○								63	
	救急医学概論Ⅱ		1		○							63	
	医学検査		1			○						64	
	救急処置総論		1		○							64	
	救急処置各論		2			○						65	2時限連続開講
	救急・災害医療		1						○			65	
	臨床外科学Ⅰ		2			○						66	2時限連続開講
	臨床外科学Ⅱ		2				○					67	2時限連続開講
	臨床外科学Ⅲ		1						○			68	
臨床外科学Ⅳ		1					○				68		
一般救急救命		1				○					69		
小児科学		1					○				69		
産婦人科学		1					○				70		
整形外科		1					○				70		
脳外科学		1				○					71		
精神医学		1					○				71		
救命救助法		1		○							72		

3. 保健学部・保健学研究科

●：必修科目 ○：選択科目

区分	授業科目名	単位数		配 当 学 年								シラバス ページ	備考
		必修	選択	1 前	1 後	2 前	2 後	3 前	3 後	4 前	4 後		
救急医学系	シミュレーションⅠ		3				○					72	4時限連続開講
	シミュレーションⅡ		3					○				73	4時限連続開講
	シミュレーションⅢ		2						○			73	
	病 院 内 実 習		10						○			74	
	救急車同乗実習		3						○			74	
総 合	特 別 講 義 Ⅰ		2									116	
	特 別 講 義 Ⅱ		2										
	特 別 演 習 Ⅰ		1									116~130	
	特 別 演 習 Ⅱ		1										
	総 合 演 習		2									131~134	
	卒 業 研 究	4									●	135	
計		33	327										124単位以上

救急医学系：1単位30時間（実習除く）

看護学科

●：必修科目 ○：選択科目

区分	授業科目名	単位数		配 当 学 年								シラバス ページ	備考	
		必修	選択	1前	1後	2前	2後	3前	3後	4前	4後			
一般教養領域	人間科学系	哲学	2	○	○								1	6科目以上 2コマ開講(1つを選択)
		生命倫理学	2		○								2	
		法学	2	○									2～3	
		日本国憲法	2		○								3～4	
		心理学	2	○									4～5	
		発達心理学	2		○								5	
		社会学	2	○	○								6	
		社会福祉学	2						○				7	
		芸術	2	○	○								7～8	
		体育実技Ⅰ	1	○									8	
	体育実技Ⅱ	1				○		○				9	1科目1単位以上	
	健康とスポーツ論	2		○								9		
	自然科学系	統計学	2	○									10	3科目6単位以上
		人類遺伝学	2		○								10	
		物理学概論	2	○									11	
		化学概論	2	○									11	
		生命科学概論	2	○									12	
	情報処理論	2			●							12		
	言語系	英語Ⅰ	2		●								13	3科目6単位以上 英会話Ⅱは英会話Ⅰを履修していること
		英語Ⅱ	2			●							13	
英語Ⅲ		2					○					14		
英語Ⅳ		2					○					14		
英会話Ⅰ		2				○	○					15		
英会話Ⅱ		2				○						15		
フランス語Ⅰ		2	○									16		
フランス語Ⅱ		2		○								16		
日本語表現法	2	○									17			
専門基礎領域	解剖学	2			●							18	2時限連続開講 2時限連続開講	
	生理学	2			●							19		
	生殖生理学	1						○				20		
	生化学	1				●						20		
	病理学	2			●							21		
	疾病論Ⅰ	2					●					22		
	疾病論Ⅱ	2						●				23		
	微生物学	2			●							24		
	免疫学	1						○				25		
	栄養学	2			●							26		
	薬理学	2					●					27		
	公衆衛生学	1			●							28		
	臨床心理学	1	○									28		
関係法規	1							●			29			
専門領域	基礎看護学系	看護学概論Ⅰ	2		●							29	演習	
		看護学概論Ⅱ	2		●							30		
		看護方法Ⅰ	2			●						31		
		看護方法Ⅱ	2			●						32		

3. 保健学部・保健学研究科

●：必修科目 ○：選択科目

区分	授業科目名	単位数		配 当 学 年								シラバス ページ	備考		
		必修	選択	1 前	1 後	2 前	2 後	3 前	3 後	4 前	4 後				
専 門 領 域	看護方法Ⅲ	2				●							33	演習	
	看護方法Ⅳ	2				●							34		
	看護方法Ⅴ	2					●						35		
	カウンセリング		1						○					36	
	基礎看護学実習Ⅰ	1			●									36	
	基礎看護学実習Ⅱ	2					●							37	
	在宅ケア論Ⅰ	1					●							37	
	在宅ケア論Ⅱ	1							●					38	
	在宅看護学実習	2								●				38	
	成人看護学概論	1				●								39	
	高齢者看護学概論	1				●								39	
	成人保健学	1				●								40	
	高齢者保健学	1				●									
	成人看護学Ⅰa	1					●							41	
	成人看護学Ⅰb	1						●						42	
	成人看護学Ⅱa	2							●					43	2 時限連続開講
	成人看護学Ⅱb	2						●						44	2 時限連続開講
	高齢者看護学Ⅰ	1						●						45	
	高齢者看護学Ⅱ	1							●					45	
	成人看護学実習Ⅰ	3								●				46	
	成人看護学実習Ⅱ	3								●				46	
	成人看護学実習Ⅲ	2									●			47	クリティカルケア、バリアティブケア、 リハビリテーションから1科目選択
	高齢者看護学実習Ⅰ	1							●					48	
	高齢者看護学実習Ⅱ	3								●				49	
	精神看護学概論	1					●							50	
	精神保健学	2						●						50	
	精神看護学	1							●					51	
	精神看護学実習	2								●				51	
	母子看護学概論	2					●							52	
	母性保健学	1					●							52	
小児保健学	1						●						53		
母性看護学Ⅰ	1					●							53		
母性看護学Ⅱ	2						●						54		
小児看護学Ⅰ	1					●							55		
小児看護学Ⅱ	2						●						56		
母性看護学実習	2								●				57		
小児看護学実習	2								●				58		
地域看護学概論	2					●							59		
地域看護学	1						●						59		
地域看護活動論	3							●					60		
保健指導総論	1						●						61		
地域看護学実習	2									●			61		
保健管理学		2							○				62		
健康教育学		2							○				62		
環境保健学		2							○				63		
産業保健学		2							○				63		

●：必修科目 ○：選択科目

区分	授業科目名	単位数		配 当 学 年								シラバス ページ	備考	
		必修	選択	1 前	1 後	2 前	2 後	3 前	3 後	4 前	4 後			
総合領域	保健福祉行政論	2						●				64	学校安全を含む	
	疫 学	2						●				64		
	保 健 統 計	2						●				65		
	学校保健概論	2				●						65		
	養護学概論		2			○						66		
	学校保健学Ⅰ		2				○					66		
	学校保健学Ⅱ		2					○				67		
	健 康 相 談		2						○			67		
	臨床検査学系	臨床検査管理総論	1						○				68	
		臨床遺伝学	1									○	68	
		医用工学概論	1				○						69	
		放射線概論	1						○				69	
	助産学系	助産学概論	1							○			70	
		助産診断・技術学Ⅰ	1							○			70	
		助産診断・技術学Ⅱ	3								○		71	3時限連続開講
		助産診断・技術学Ⅲ	3								○		71	3時限連続開講
		助産管理学	1									○	72	
		助産学特論	1									○	72	
		助産学実習Ⅰ	7									○	73	
		助産学実習Ⅱ	1									○	73	
	総合領域	医 療 総 論	1										●	74
看護管理学		1											休講	
看護教育論		1										○	74	
移植コーディネータ論		2					○						75	
基礎看護学特論		1						○		○			75	
成人看護学特論		1								○			76	
高齢者看護学特論		1								○			76	
精神看護学特論		1											休講	
母子看護学特論		1							○			○	77	
地域看護学特論		1								○			77	
特別講義Ⅰ		2								○			78	
特別講義Ⅱ		2									○		79	
総合演習		2											79～83	
卒業研究		4											●	83
計	112	104											137単位以上	

3. 保健学部・保健学研究科

臨床工学科

●：必修科目 ○：選択科目

区分	授業科目名	単位数		配 当 学 年								シラバス ページ	備考		
		必修	選択	1 前	1 後	2 前	2 後	3 前	3 後	4 前	4 後				
人文・社会学系	哲 学		2	○	○								1	10単位以上	2コマ開講 (1つを選択)
	心 理 学		2	○									2		
	法 学		2	○									3		
	日 本 国 憲 法		2		○								4		
	社 会 学		2	○	○								5		
	生 命 倫 理 学		2		○								6		
	発 達 心 理 学		2		○								6		
数学系	芸 術		2	○	○								7	3単位以上	
	数 学	2			●							8			
	統 計 学 演 習		1		○							8			
	医 療 情 報 科 学		2				○								
	計 算 機 演 習	2				●									
物理学系	応 用 数 学	2			●							9	3単位以上		
	基 礎 電 気 学	2			●							9			
	基 礎 電 子 回 路	2			●							10			
化学系	医 用 工 学 概 論	2		●								10	3単位以上		
	無 機 化 学	2		○								11			
	生 物 有 機 化 学 I	2		○								11			
	生 物 有 機 化 学 II	2			○							12			
生物学系	化 学 実 験	1		○								12	3単位以上		
	生 命 科 学 概 論	2		○								13			
	細 胞 生 物 学	2			○							13			
	人 類 遺 伝 学	2		○								14			
言語系	生 物 学 実 験	1		○								14	英語 I・II (各2単位) または フランス語 I・II (各2単位)、 どちらか選択、 他に4単位以上。 英会話 II は英会 話 I を履修して いること		
	日 本 語 表 現 法	2		●	●							15			
	英 語 I	2		○								15			
	英 語 II	2			○							16			
	英 語 III	2				○									
	医 学 英 語	2					○								
	英 会 話 I	2				○									
	英 会 話 II	2				○									
	フ ラ ン ス 語 I	2		○								16			
	フ ラ ン ス 語 II	2			○							17			
体育学系	フ ラ ン ス 語 III	2				○							17		
	フ ラ ン ス 語 会 話	2					○								
基礎医学系	体 育 実 技 I	2		●								17			
	体 育 実 技 II	1						○							
	健 康 ス ポ ー ツ 科 学	2		○								18			
	医 学 概 論	2		●								18			
	公 衆 衛 生 学 I	2		●								19			
	公 衆 衛 生 学 II	2			○							19			
	解 剖 学 I	2		●								20			
基礎医学系	解 剖 学 II	2			○							20			
	病 理 学	2				●									
	生 理 学 I	2		●								21			

●：必修科目 ○：選択科目

区分	授業科目名	単位数		配 当 学 年								シラバス ページ	備考
		必修	選択	1 前	1 後	2 前	2 後	3 前	3 後	4 前	4 後		
基礎医学系	生理学Ⅱ	2			●							21	2 単位以上
	生理学実験	1			●							22	
	生化学Ⅰ		2		○							22	
	生化学Ⅱ		2			○							
	血液学		2			○							
	免疫学		2				○						
	微生物学		2		○							23	
	医動物学		2			○							
	薬理学		2			○							
	看護学		2			○							
医学検査系	生理学検査Ⅰ	2				●							
	生理学検査Ⅱ	2					●						
	画像診断技術		2					○					
	生理学検査実習		1						○				
	医学検査		2			○							
	臨床病理学		2				○						
	臨床遺伝学		2				○						
臨床工学系	医用電気工学		2			○							※実習科目の実施時期については未定
	医用電気工学実習		1										
	医用電子工学		2			○							
	医用電子工学実習		1										
	システム工学		2		○							23	
	医用情報処理工学		2				○						
	医用情報工学実習		1										
	医用計測工学		2				○						
	医用計測工学実習		1										
	医用機械工学		2			○							
	生体物性学		2			○							
	生体材料工学		2				○						
	医用機器学概論		2			○							
	医用計測機器学		2				○						
	医用計測機器学実習		1										
	医用治療機器学		2				○						
	医用治療機器学実習		1										
	生体機能代行装置学概論		2				○						
	生体機能代行装置学基礎実習		1										
	呼吸関連機器学		2						○				
	呼吸関連機器学実習		1										
	血液浄化装置学		2						○				
	血液浄化装置学実習		1										
	体外循環機器学		2						○				
	体外循環機器学実習		1										
	医用機器安全管理学Ⅰ		2			○							
	医用機器安全管理学Ⅱ		2				○						
	安全管理学実習		1										
	臨床医学総論Ⅰ		2			○							

3. 保健学部・保健学研究科

●：必修科目 ○：選択科目

区分	授業科目名	単位数		配 当 学 年								シラバス ページ	備考
		必修	選択	1 前	1 後	2 前	2 後	3 前	3 後	4 前	4 後		
臨床工学系	臨床医学総論Ⅱ		2				○						※実習科目の実施時期については未定
	臨床医学総論Ⅲ		2				○						
	臨床医学総論Ⅳ		2					○					
	医療関係法規		2							○			
	臨床実習講義		1										
	臨床実習		3										
衛生学系	産業保健学		2							○			
	環境衛生工学		2							○			
	放射線概論		2				○						
	環境化学		2		○						24		
	分析化学Ⅰ		2		○						24		
	分析化学Ⅱ		2			○							
	食品栄養学		2				○						
	食品衛生学		2					○					
	食品製造学		2			○							
	職業適性論		2				○						
	労働衛生法規Ⅰ		2							○			
	労働衛生法規Ⅱ		2							○			
	救命救助法		1		○						25		
総合	特別講義Ⅰ		2		○						25		
	特別講義Ⅱ		2										
	特別演習Ⅰ		1								26~37		
	特別演習Ⅱ		1										
	総合演習		2										
	卒業研究	4									●		
計	37	177											

3) 教員の業績

(1) 主な研究業績

分析化学教室

Analytical Chemistry

1. Okada Y, Tanaka K, Sato E & Okajima H: Kinetic and mechanistic studies of allicin as an antioxidant. *Org Biomol Chem* 4: 4113-4117, 2006.
2. 佐藤英助¹, 佐藤昌泰¹, 岡田洋二, 丘島晴雄 (¹青森大・薬・分析化学): 環境と健康 (第29報): 東京地区における河川中水銀濃度の予備調査. 青森大学・青森短期大学研究紀要 29: 53-60, 2006.
3. 岡田洋二, 田中 薫¹, 佐藤英助², 丘島晴雄 (¹杏林大・保健・医用情報工学, ²青森大・薬・分析化学): アリシンの抗酸化機構に関する研究—アリル位水素の関与—. 第126年会日本薬学会, 仙台, 平成18年3月28-30日.

環境生命科学教室

Environment and Life Science

1. 蒲生 忍: 医学研究と医療における倫理委員会の役割: 米国の例. 杏林医学会雑誌 37 (4): 83-90, 2006.
2. Gamou S: Health Care Ethics Education in Seattle: What I learned and what I want to teach. UNESCO-UNU Bioethics Roundtable. UNU-IAS Yokohama, Feb. 15, 2007.
3. Gamou S, Suzuki T, Honda M, Matsumoto S & Stephen R. Stürzenbaum: Identification of Valosine-Containing Proteins (Vcp) as a Novel Spermatogenesis Related Factor in *Eisenia fetida* (Savigny, 1826). The 8th International Symposium on Earthworm Ecology, Krakow, Poland, Sept. 4-9, 2006.
4. Gamou S, Hirayama T, Suzuki T, Honda M & Matsumoto S: Molecular Phylogenetic Analysis of Common *Amyntas* Worm in Japan. The 8th International Symposium on Earthworm Ecology, Krakow, Poland, Sept. 4-9, 2006.

病理学教室

Pathology

1. 山本 寛: 乳癌組織における Vascular Endothelial Growth Factor-C の免疫組織化学的発現とリンパ管侵襲. 杏林医学会雑誌 37: 8-15, 2006.
2. 山本 寛, 滝口祥恵¹, 郡 秀一², 飯島淳子², 安井英明², 海野みちる³, 大河戸光章, 藤井雅彦 (¹千葉県立東金病院検査科, ²杏林大・保・細胞診断学, ³同・医学部病理学): 前立腺腫瘍における PIN Cocktail 抗体を用いた二重染色. 第55回日本医学検査学会, 松江市, 平成18年5月19日.
3. Komoda T, Yamamoto H, Sekine N, Bannai H: Kinetic study of serum anti-bodies to *Chlamydia trachomatis* and *Chlamydia pneumoniae* in long term follow-up patients. The 27 World Congress of Biochemical Laboratory Science, Seoul, Sep.17, 2006.
4. 藤井雅彦: 静脈血栓の形成メカニズム. 第35回杏林医学会総会, 三鷹市, 平成18年11月18日.
5. 小野川 傑¹, 山本 寛, 瀧 龍雄², 新江賢¹, 遠藤宣子¹ (¹杏林大・保・免疫学, ²北里大・医衛・微生物): 実験的敗血症マウスへの IL-6 レセプター投与による生体反応への影響. 第80回日本細菌学会総会, 大阪市, 平成19年3月27日.

生化学研究室

Biochemistry

1. Shima Y, Teruya K & Ohta H. Association between intronic SNP in urate-anion exchanger gene, SLC22A12, and serum uric acid levels in Japanese. *Life Sci* 79 (23): 2234-2237, 2006.
2. Matsumoto S¹, Yoshida S¹, Ikeda M¹, Tanimoto T¹, Saiki C¹, Takeda M¹, Shima Y & Ohta H. (¹Department of Physiology, Nippon

Dental University, School of Dentistry at Tokyo.) : Effect of 8-bromo-cAMP on the tetrodotoxin-resistant sodium (Nav 1.8) current in small-diameter nodose ganglion neurons. *Neuropharmacology* 52: 904-924, 2007.

3. セレノプロテインS 遺伝子多型と血清生化学データやBMIとの関連：島 幸夫，太田英彦．第13回遺伝子診療学会大会，東京，平成18年7月28-29日．
4. アルデヒド脱水酵素 ALDH2 遺伝子多型と健診データとの関連：竹内信乃，島 幸夫，太田英彦，佐藤豊二¹（新潟県立がんセンター生化学検査室），第57回日本電気泳動学会総会，静岡県浜松市，平成18年10月27-28日．
5. 脂肪腫に検出された HMGA2/LPP fusion の2例：平野有司¹，津田美和¹，芳賀博子¹，原光雅¹，佐藤豊二¹，畠野宏史²，内山 徹²（¹新潟県立がんセンター新潟病院 生化学検査室，²同 整形外科），島 幸夫．第53回日本臨床検査医学会学術集会，青森県弘前市，平成18年11月9-11日．

臨床血液学教室

Hematology

1. 中竹俊彦：リンパ球の世界—リンパ球系と核小体 (AgNOR 染色画像とその解説)—．都臨技会誌 35(1)，2007．
2. Komoda T, Yamamoto H, Sekine N & Bannai H: Kinetic study of serum antibodies to *Chlamydia trachomatis* and *Chlamydophila pneumoniae* in long term follow-up patients. The 27th World Congress of Biochemical Laboratory Science, Seoul, Sep.17, 2006.
3. 中竹俊彦：手軽にできる健康チェック「血液の健康チェックと病院検査(I)血液の性質を知りましょう」．主催・八王子市「いちよう塾」，八王子，平成19年2月24日．
4. 中竹俊彦：手軽にできる健康チェック「血液の健康チェックと病院検査(II)健康な血液の知識を整えましょう」主催・八王子市「いちよう塾」，八王子，平成19年3月3日．
5. 中竹俊彦：骨髓像の解析と表現法(第2巻)—リンパ球を追う—．近代出版，平成18年6月

1日．

臨床微生物学

Microbiology

1. 小倉健一¹，齊藤冬彦¹，森田耕司：フルオロキノロン耐性 *Salmonella Typhimurium* が分離された小児下痢症の2症例．日本臨床微生物学雑誌 16: 96-101, 2006.
2. Sekiguchi J¹，Miyoshi-Akiyama T¹，Augustynowicz-Kopec²，Zwolaska Z²，Kirikae F¹，ToyotaE¹，Kbayashi I³，Morita K，Kudo K¹，Kato S⁴，Kuratsuji T^{1, 5}，Mori T^{1, 6} & Kirikae T¹（¹International Medical Center of Japan, ²National Research Institute of tuberculosis and Lung Disease, ³Mitsubishi Kagaku Bio-Clinical Laboratories, ⁴Research Institute of Tuberculosis, ⁵National Research Institute for Child Health and Development, ⁶National Institute of Infectious Diseases）: Detection of multidrug resistance in *Mycobacterium tuberculosis*. *J Clin Microbiol* 45: 179-192, 2007.
3. 岩崎友美，森田耕司，渡辺 登，金森政人，倉園貴至¹，山口正則¹，鈴木理恵子²，沖津忠行²，伊藤健一郎³（¹埼玉衛研，²神奈川衛研，³国立感染研）：*cesT* 遺伝子型別による志賀毒素産生大腸菌 O157:H7 の迅速診断．第80回日本感染症学会総会，東京，平成18年4月20-21日．
4. 森田耕司，渡辺 登，岩崎友美，金森政人，関口純一郎¹，切替照雄¹，近 真理奈²，倉園貴至²，山口正則²，松下 秀³（¹埼玉衛研，²国立国際医療センター研，³都健康安全研）：志賀毒素産生大腸菌 O26:H11 株に保有を認めた第三世代セフェム，ホスホマイシン耐性プラスミド pSTEC3060 の構造について．第10回腸管出血性大腸菌感染症シンポジウム，東京，平成18年8月31日-9月1日．
5. 森田耕司，渡辺 登，岩崎友美，松下 秀¹，金森政人（¹都健康安全研）：*Vibrio cholerae* におけるキノロン系薬耐性と耐性関連遺伝子の変異．第40回腸炎ビブリオシンポジウム，東京，平成18年11月30日-12月1日．

臨床検査学教室

Medical Technology

1. 藤野美菜¹, 岩田利枝¹, 望月悦子², 宮沢 博
(¹東海大学情報デザイン工学部, ²早稲田大学
理工学術院): 都内保育園における真菌・ダ
ニアレルゲン量による空気汚染の実態調査.
日本建築学会環境系論文集 609: 47-
53, 2006.
2. 菰田照子, 大島俊文¹, 芦田 愛¹, 坂内久一,
本村龍太郎², 秋田博伸³, 岩田 敏⁴, 佐藤吉
壮⁵, 砂川慶介⁶ (¹明治乳業株式会社, ²もとむ
ら産婦人科医院, ³聖マリアンナ医大横浜市
西部病院・小児科, ⁴国立病院東京医療セン
ター・小児科, ⁵富士重工業健康保険組合総
合太田病院・小児科, ⁶北里大・医・感染症
学): 各種血清型菌体を抗原とした im-
munoblot 法による抗 *Chlamydia trachomatis*
抗体の検出. 感染症誌 81: 133-137, 2007.
3. 大橋えり¹, 吉田伸治¹, 大岡龍三², 宮沢 博
(¹福井大学工学部, ²東京大学生産技術研究
所): スギ花粉粒子の室内侵入率と室内落下
量分布の実態について. 日本建築学会 2006
年度大会 (関東), 横浜, 平成18年9月7-9
日
4. Komoda T, Yamamoto H, Sekine N & Bannai
H: Kinetic study of serum antibodies to *Chla-
mydia trachomatis* and *Chlamydophila pneu-
moniae* in long term follow-up patients. The
27th World Congress of Biomedical Labora-
tory Science, Seoul, Sep. 17, 2006.
5. 西村伸大¹, 菅野敬祐², 森谷直樹³, 丹羽 健³
(¹杏林大・保, ²北里大・保, ³山野美芸短):
精神的ストレス負荷に対するネロリ芳香浴の
影響. 日本未病システム学会学術総会, 品
川, 平成18年12月2-3日.

細胞診断学教室

Cytology

1. 郷田敦史, 郡 秀一, 飯島淳子, 安井英明:
肺腺癌における Topoisomerase II α の組織内
発現の検討, 第95回日本病理学会総会, 東
京, 平成18年4月30日.
2. 郡 秀一, 飯島淳子, 安井英明: ウェブログ

を用いた細胞画像教育の問題点. 第1回日本
臨床検査学教育学会, 東京, 平成18年8月24
日.

3. 第95回日本病理学会総会, 東京, 平成18年5
月1日. コンパニオンミーティング, Liver
Disease Working Group Kanto 「肝疾患の臨
床および病理診断における pitfall とその背
景」座長

臨床遺伝学教室

Medicinal Genetics

1. Shimizu Y, Yamaki A, Asai S, Ueno A, Kudoh
J¹ & Shimizu N¹ (¹Dept. Mol. Biol. Keio Univ.
Sch. Med) Hyaluronan synthetase 2 as a tar-
get of human SIM2. The 20th IUBMB Interna-
tional Congress of Biochemistry and Molecu-
lar Biology and the 11th FAOBMB Congress,
Kyoto, June 18-23, 2006.
2. Yamaki A, Kudoh J¹, Shimizu N¹ & Shimizu Y,
(¹Dept. Mol. Biol. Keio Univ. Sch. Med) Mo-
lecular interaction of single-minded (SIM)
proteins with Arylhydrocarbon receptor
translocator (ARNT) proteins. The 20th
IUBMB International Congress of Biochemis-
try and Molecular Biology and the 11th
FAOBMB Congress, Kyoto, June18-23, 2006.
3. 田村高志, 八巻明子, 東原英二¹, 清水淑子
(¹杏林大医泌尿器): 本邦における多発性囊
胞腎患者の PKD1 遺伝子変異解析. 第13回
日本遺伝子診療学会, 東京, 平成18年7月28-
29日.
4. 清水淑子: ダウン症関連遺伝子の発現調節と
蛋白の機能解析. 科学研究費補助金 (基盤研
究B) 研究報告書, 平成17年6月.

病態生化学研究室

Pathological Biochemistry

1. Hiraoka A, Sasaki S, Yamada T, Shinohara A¹
and Chiba M² (¹Dept of Epidemol and Envi-
ron Health, Juntendo Univ Sch of Med, ²Int
Univ Health and Welfare, Sch of Pharm Sci):
Effects of drinking a water products with an-
tioxidant activities *in vitro* on the blood lev-

- els of biomarker substances for the oxidative stress. *J Health Sci*, 52 : 817–820, 2006.
- Hiraoka A: High-performance capillary electrophoresis of proteins in human body fluids: Applications of isoelectrofocusing and sodium dodecylsulfate-gel electrophoresis modes to the protein analyses of cerebrospinal fluid and serum samples from patients with neurological disorders. *Trends in Chromatogr* 1: 53–61, 2005. (発刊の遅れによる) (Review).
 - 平岡 厚, 裏出良博¹, 兼清貴久¹, 岡崎一生¹, 富永 格², 堀 浩二² (¹大阪バイオサイエンス研究所, ²下総精神医療センター): キャピラリー電気泳動—質量分析によるヒト脳脊髄液中のアミロイド β -ペプチドの存在状態の検討. 第13回クロマトグラフィ—シンポジウム, 東京, 平成18年6月8日.
 - 平岡 厚, 池田真也¹, 福土恵一¹, 富永 格², 堀 浩二² (¹神戸大・海事, ²下総精神医療センター): キャピラリーゾーン電気泳動による神経疾患の患者脳脊髄液及び血清中の硝酸イオン及び亜硝酸イオンの分離・定量. 第26回キャピラリーゾーン電気泳動シンポジウム, 京都, 平成18年11月13日.
 - Hiraoka A, Urade Y¹, Kanekiyo T¹, Okazaki I¹, Tominaga I² and Hori K² (¹Dept of Mol Behavior Biol, Osaka Biosci Inst, ²Shimohusa Psychiat Med Cent): Capillary electrophoresis-mass spectroscopic studies on amyloid β -peptide in the human cerebrospinal fluid. In: *Peptide Sci 2006*, Ishida H and Mihara H (Eds.), Tokyo, The Jpn Peptide Soc, 2006. P.282–283.

臨床内科学研究室 (第一)

Internal Medicine (I)

- 柳澤厚生: 金属と解毒・キレーション, 日本抗加齢医学会雑誌 2 : 60–63, 2006.
- 鱸 伸子, 柳澤厚生, 小池秀海, 深澤政富, 和田貴子: 救急救命士課程学生のコミュニケーション技術向上のためのコーチング実習導入, 日本臨床救急医学会雑誌 9 : 320–325, 2006.

3. 保健学部・保健学研究科

- 柳澤厚生: 教育とコーチング (教育講演), 平成17年度全国研究教育栄養士協議会, 福岡, 平成18年3月2日.
- 柳澤厚生: ニュートリション・コーチング. 医歯薬出版, 2006.
- 柳澤厚生: 父親こそ子どもの人生の名コーチ. 学芸社, 2006.

救急医学

Emergency Medicine

- 深澤政富, 和田貴子: 杏林大学における救急救命士教育の現状と課題. プレホスピタルケア19巻4号. プレホスピタルケア編集委員会. 東京, 東京法令出版, 2006, p10–14
- 山内亮子, 和田貴子, 深澤政富, 柳澤厚生¹, 小池秀海², 櫻井 勝³, 肥留川賢一⁴ (¹杏林大・保・医療コミュニケーション学, ²杏林大・保・神経生理学, ³成蹊学園保健管理センター, ⁴青梅市立総合病院救命救急センター): 講習会インストラクターを務めることが学習意欲へ及ぼす影響. 第9回日本臨床救急医学会総会, 盛岡, 平成18年5月11日–12日.
- 山内亮子, 和田貴子, 深澤政富, 鱸 伸子¹ (¹杏林大・保・医療コミュニケーション学): 救急救命士を目指す学生に対するコーチング・コミュニケーション教育の評価. 第34回日本救急医学会総会・学術集会, 福岡, 平成18年10月30日.
- 和田貴子, 岡本博照¹, 角田 透¹ (¹杏林大・医・衛生学公衆衛生学): 地域救急医療における女性医師の人材活用の可能性について. 第34回日本救急医学会総会・学術集会, 福岡, 平成19年11月1日.

公衆衛生学

Public Health

- Shima Y¹, Teruya K & Ohta H¹ (¹Laboratory of Biochemistry, Kyorin University Faculty of Health Sciences): Association between intronic SNP in urate-anion exchanger gene, SLC22A12, and serum uric acid levels in Japanese. *Life Sciences* 79 (23) : 2234–2237.
- 照屋浩司, 高安雅嗣, 神津祐子, 島田直樹¹,

- 櫻井 裕², 中村 功³ (¹慶應大・医・衛生公衆衛生, ²防衛医科大・衛生公衛, ³相鉄診療所) : 複数回繰り返し血圧測定健康管理上の意義. 第79回日本産業衛生学会, 仙台, 平成18年5月9-13日.
3. 照屋浩司: 動脈硬化をどう診るか—Augmentation Index : AI, 脈波. 第6回日本AS学会, 東京, 平成18年9月9日.
 4. 照屋浩司: 健康寿命を延ばそう 高齢期をいきいき過ごすための運動・食事と医学知識. 小林修平監修/NPO 法人日本健康運動指導士会編. 東京, 第一出版, 2006.
 5. 照屋浩司: II-II-3. 身体活動, 運動. II-II-4. 喫煙行動. エssenシャル社会・環境と健康 (第2版). 高島 豊, 櫻井裕編. 東京, 医歯薬出版, 2007. p.114-126.

精神保健学教室

Health Sciences

1. 田島 治: OCS (obsessive-compulsive spectrum disorders) の臨床的意義と SSRI. 精神神経学雑誌 109: 158-161, 2007.
2. 田島 治: SSRI の功罪. 第102回日本精神神経学会総会, 福岡, 平成18年5月12日.
3. 田島 治: OCD 関連障害をめぐって〜とくにセロトニンの脳内作用との関連. 第102回日本精神神経学会総会, 福岡, 平成18年5月13日.
4. 田島 治: 抗うつ薬の光と影. 第16回日本臨床精神神経薬理学会, 福岡, 平成18年10月26日.
5. 田島 治: 精神医療の静かな革命. 東京, 勉誠出版, 2006.

臨床生理学・医用応用工学教室

Clinical Physiology and Medicinal Applied Engineering

1. 三谷博子, 石山陽事, 水田 陽¹, 片岡幸代¹ (¹アップリカ育児研究所) : 新生児, 乳児を対象とした心拍・呼吸動態の無拘束計測法の基礎的検討. 医工学治療 18: 75-84, 2006.
2. 三谷博子, 石山陽事: κ 律動の振幅分布と位相差に関する基礎的検討. 生体医工学 44:

629, 2006.

3. 三谷博子: 教育講演 交感神経皮膚反応 SSR について. 第36回日本臨床神経生理学学会, 横浜, 平成18年11月30日 (臨床神経生理学 34: 317, 2006).
4. 石山陽事: 神経機能検査. 臨床検査 50: 1695-1700, 2006.
5. 石山陽事: 神経生理検査に必要な医用工学の基礎知識. 医学検査 55: 89-102, 2006.

生理・生体工学教室

Physiology and Biological Engineering

1. 木暮守宏¹, 加藤幸子, 秋元恵実, 小林博子, 嶋津秀昭, 武井静代², 内藤美智子¹, 笠原多嘉子¹, 久 光正¹ (¹昭和大・医・第一生理学, ²東京アロマセラピーカレッジ) : 植物精油についての嗅覚生理学的研究調査—香りに対する好き嫌い—. Journal of Japanese Society of Aromatherapy 5: 25-33, 2006.
2. 加藤幸子, 有馬太郎, 秋元恵実, 小林博子, 嶋津秀昭: 鍼灸治療における患者・治療者による痛み評価の比較. 第55回(社)全日本鍼灸学会学術大会, 金沢, 平成18年6月17日.
3. 嶋津秀昭, 小林博子, 瀬野晋一郎, 中西 孝, 神山卓郎¹, 松本健一² (¹シチズン・システムズ(株), ²シチズン時計(株)) : 間接的血圧測定用ダイアル締め付け式ワンタッチカフの開発. 第4回生活支援工学系学会連合大会, 野田, 平成18年9月12日.
4. 嶋津秀昭: 「深部静脈血栓症および肺梗塞の成因と予防法」 1. 空気圧による下肢圧迫と血栓予防. 第35回杏林医学会総会医学部・保健学部合同公開シンポジウム, 三鷹, 平成18年11月18日.
5. 嶋津秀昭: 臨床工学技士のための「二度目の物理学入門」第1回 単位から考える物理学①—単位とは何か—. Clinical Engineering, 東京, 秀潤社, 2006. p.387-392.

先端臨床工学

Advanced Medical Engineering

1. Asakawa Y¹, Funakubo A¹, Fukunaga K, Taga I², Higami T³, Kawamura T⁴ & Fukui Y¹

(¹School of Science and Engineering, Tokyo Denki University, ²Frontier R & D Center, Tokyo Denki University, ³Shimane Medical University, ⁴Hyogo Prefecture Health Promotion Association) : Development of an Implantable Oxygenator with Cross-Flow Pump. ASAIO J : 291-295, 2006.

2. 福長一義, 舟久保昭夫, 福井康裕: 残響計測による補助人工心臓用血液ポンプのダイアフラムモニタリング. 超音波テクノ Vol.18 No.2.東京, 日本工業出版, 2006. P.40-44.
3. 中島章夫, 福長一義: 杏林大学保健学部先端臨床工学研究室 医療に工学をもたらす医工連携の先兵臨床工学技士. Medical Academy News 第997号. 東京, 薬事日報社, 2007. P.1.
4. 中島章夫: 新しい脳腫瘍除去用レーザー手術システムの研究. Medical Academy News 第1000号. 東京, 薬事日報社, 2007. p.2.
5. 中島章夫: 杏林大学保健学部臨床工学科 (4年制大学における患者本位の医療と臨床工学教育を両立した次世代のリーダー育成を目指して). Clinical Engineering Vol. 18. 峯島三千男編. 東京, 秀潤社, 2007. p.187-190.

医用情報工学教室

Medical Information Engineering

1. Okada Y¹, Tanaka K, Sato E² & Okajima H¹ (¹Dept. of Analytical Chemistry, Kyorin Univ. Faculty of Health Sciences, ²Aomori Univ. Faculty of Pharmaceutical Sciences) : Kinetic and mechanistic studies of allicin as an antioxidant. Org Biomol Chem 4 : 4113-4117, 2006.
2. 岡田洋二¹, 田中 薫, 佐藤英助², 丘島晴雄¹ (¹杏林大・保健・分析化学, ²青森大・薬) : アリシンの抗酸化活性に関する研究—反応速度と抗酸化機構—. 日本薬学会127年会, 富山, 平成18年3月28日.

生体機能代行装置学

Biological-Function Substitution Devices

1. 副島昭典, 松澤直輝: 保存期腎不全例へのEPO投与が尿中 transferrin 及び鉄排泄量に

3. 保健学部・保健学研究科

及ぼす影響. 腎性貧血治療研究会平成17年度研究報告集, 細谷龍男, 他, 編, 2006.

2. 福岡利仁, 副島昭典: 急性腎不全とフリーラジカル. 医学のあゆみ別冊, フリーラジカル医学生物学の最前線 ver.2, 2006.
3. 副島昭典: 尿細管間質障害と尿中低分子量蛋白, 尿中トランスフェリン及び脂肪酸結合蛋白(L-FABP)の関係に関する研究. 平成18年度 重金属等の健康影響に関する総合研究報告書, 独立行政法人 環境再生保全機構, 2006.
4. 副島昭典: 維持透析患者の貧血と鉄剤—その病態の特殊性. (招請講演) 第一回白河地区透析療法勉強会, 白河市, 平成18年6月1日.
5. 副島昭典: 維持透析患者の加齢現象はなぜ促進されるのか?—アルブミン分子の構造転移とレドックス制御. (特別講演) 第7回 vitamembrane 研究会, 東京, 平成18年7月8日.

臨床医学

Clinical Medicine

1. 四倉正之: 筋ジストロフィーの不整脈を測る. 神経内科 65 : 32-37, 2006.
2. Tani ai S, Koide Y, Yotsukura M, Nishimura T, Kachi E, Sakata K & Yoshino H : A new application of the ST-HR loop to evaluate the exercise-induced reversible ischemia in healed anterior wall myocardial infarction. Am J Cardiol 98 : 346-351. 2006.
3. 吉野秀朗, 四倉正之, 坂田好美, 池田隆徳, 加地英生: 日常臨床における循環器 Q & A 第13回府中市医師会循環器勉強会. 府中, 平成18年6月19日.
4. 吉野秀朗, 四倉正之, 坂田好美, 池田隆徳, 加地英生: 日常臨床における循環器 Q & A 第14回府中市医師会循環器勉強会. 府中, 平成18年10月16日.
5. 四倉正之: 三鷹市医師会心電図勉強会. 三鷹, 平成18年4月27日, 6月22日, 8月4日, 10月26日, 12月21日, 平成19年2月22日.

母子看護・助産学教室

Maternal and Child Nursing and Midwifery

1. 佐々木裕子：働く女性。ウィメンズヘルスナーシング。女性のライフサイクルとナーシング。女性の生涯発達と看護。ライフサイクルと女性の心理。村本淳子，高橋真理編。東京，ヌーベルヒロカワ，2007，p.57-58.
2. 大脇淳子：保育園に通園する年長幼児の服薬行動を促要因，第65回日本公衆衛生学会，富山，平成18年10月25-27日。
3. 橋本佳美，武市洋美¹，平澤美恵子²，新田真弓²，長内佐斗子³，村上睦子³（¹桶谷母乳育児研修センター，²日赤看護大，³日赤医療センター）：多胎児に対する母乳育児支援—母児の健康状態とNICU退院時の栄養方法の実態から—。第53回日本小児保健学会，山梨，平成18年10月26-28日。
4. 柴田真理子¹，尾島俊之²，中村好一²（¹杏林大学・²自治医科大学）：快適な妊娠・出産における分娩期の体位に関する産婦人科医の考え方及び実態に関する研究。上武大学看護学部紀要 1：1-15，2006。
5. 佐藤喜美子，山元有佳，太田ひろみ¹（¹杏林大・保・地域看護学）：なんでも揃う「ツイインズマーケット」—多胎育児中の親のためのイベント「ツイインズマーケット」を開催してツイインズぶらす 18：34-37，2006。
- おして学んだこと—」第11回日本難病看護学会学術集会，札幌市，平成18年8月25日。
2. 山口佳子，加藤昌代，太田ひろみ，塚原洋子：同窓保健師交流会の評価，杏林大学研究報告教養部門 24：41-53，2006。
3. 井上純子¹，今村知明²，大場エミ³，斉藤恵美子⁴，永江尚美⁵，平野かよ子⁶，藤岡正昭⁷，八幡成美⁸，山口佳子（¹岡山県備前市保健福祉部保健課，²東京大学医学部付属病院企画情報運営部，³全国保健師長会，⁴首都大学東京健康福祉学部，⁵鳥根県健康福祉部健康推進課，⁶国立保健医療科学院公衆衛生看護学部，⁷青森県健康福祉部健康福祉政策課，⁸法政大学キャリアデザイン学部）：平成18年度地域保健総合推進事業 保健師の2007年問題に関する検討会報告書。平成19年3月。
4. 太田ひろみ，佐藤喜美子¹（杏林大・保・母子看護助産学），塚原洋子：多胎育児自主グループ間の連携への支援。第65回日本公衆衛生学会，富山，平成18年10月25-27日。
5. 加藤昌代：「地域づくり型保健活動」における住民のエンパワメント「健康関城21」計画策定を通して。響きあう街で 75：6-10，2006。

地域看護学

Community Health Nursing

1. 塚原洋子：「病とともに生きるとは—実習学生が，患者さん，そしてご家族との対話をと